

平成27年度 小山町立すがぬま園評価「自己評価書」

1 教育目標

『のびのびあそぶ、げんきな子』

さまざまな体験をとおして、のびのびと活動し、豊かな心を育てる。

2 重点目標及び具現の方策

- ・手作り玩具、伝承遊びを大切にする。
- ・音楽や絵本にたくさん触れ、情緒を豊かにする。
- ・体験をとおし、年齢に合った課題を考え思いやりを育てたり、挑戦や失敗をしたりしながら、成就感や達成感を味わう機会を設ける。
- ・周辺の自然に親しみ、地域の人たちと触れ合う。

3 項目別評価

評価項目	項目別評価	評価の理由	職員 アンケート 結果	保護者 アンケート 結果
保育計画・教育課程	B		B	A
保育指導	B	園児一人ひとりが生き生きと自己表現、自己主張できる場を増やしていく。	B	B
保健管理・食事	B	保護者への情報提供が不足だった。	A	B
安全管理	B		B	B
特別支援教育	B	情報の共有化を図り、巡回相談・なのはな相談のアドバイスを活かしていく。	B	
組織運営・情報管理	B	個人情報に関しては良かったが、苦情解決面で努力が必要。	B	B
研修	B	園内研修の充実させる努力をし、互いの情報交換ができた。	B	
教育目標・園目標	B	保護者へ園だよりをとおしてわかりやすい表現で伝える事ができた。	B	A
情報提供	B	保護者への提供は良かった。地域に対しての方法は工夫が必要だ。	B	A
保護者・地域との連携	B		B	B

子育て支援	B		B	A
施設・設備	B	保護者からの具体的な要望があり、園児を取り巻く重要な部分として、改善を進める。	B	B

- (注) 1 評価表示方法「A：十分達成されている、B：達成されている、C：取り組まれているが、成果が十分ではない、D：取組が不十分である」
- 2 「職員アンケート結果」は、項目別評価用アンケートを集計したものである。
- 3 「保護者アンケート結果」は、項目別評価用アンケートのうち「わからない」と回答したものを除いて集計したものである。
- 4 「項目別評価」は、「職員による評価」及び「保護者による評価」をもとに、職員で話しあって決定したものである。

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
給食に関して個々の様子を知らせてほしいと言う要望があった。	クラスだより、連絡帳、クラス別掲示、保護者への個別に話していくなど機会を増やしていく。
特別支援教育において、担当クラスに対象児がいないと意識が低い。	全園児に対し、その子の特性を十分理解し、全職員が同じ目線、姿勢で取り組めるように、職員間の共通意識を高めていくケース会議、資料の検討をしていく。
園からの地域への情報提供の発信力が弱い。	保護者への情報提供は職員の努力が伺えた。地域に対してはそのあり方、目的を考慮しながら工夫していく。(掲示板、ホワイトボードの活用など)

5 評価全体を通して

- ・ 前期評価を受けて、目的が明確になった事から職員の努力が伺えた。保護者アンケートからその成果が見られ、職員の次なる目標につながった。今後に活かすべき点を職員間で話し合い、次年度につなげたい。
- ・ 前期に引き続き、情報提供、特別支援教育、安全管理など課題があり、保育の中で努力目標を明確にし、具体的な取組を実施していきたい。
- ・ 保護者アンケートでの評価は高かった項目がほとんどだったが、一部保護者の評価が低いものがあった。職員で問題提起し自ら考えて進めていくようにしていき、より多くの保護者との連携を図りたい。
- ・ 保護者アンケートから園の設備に対しての要望が明らかになった事で、改善できた点は良かった。
- ・ 保育園として初めての保護者アンケートだった。書面で保護者の各分野での意向が具体的にわかり、自分たちの保育、園としての取組み方を見直し反省できた。